

現行の地域医療構想に係る取組について

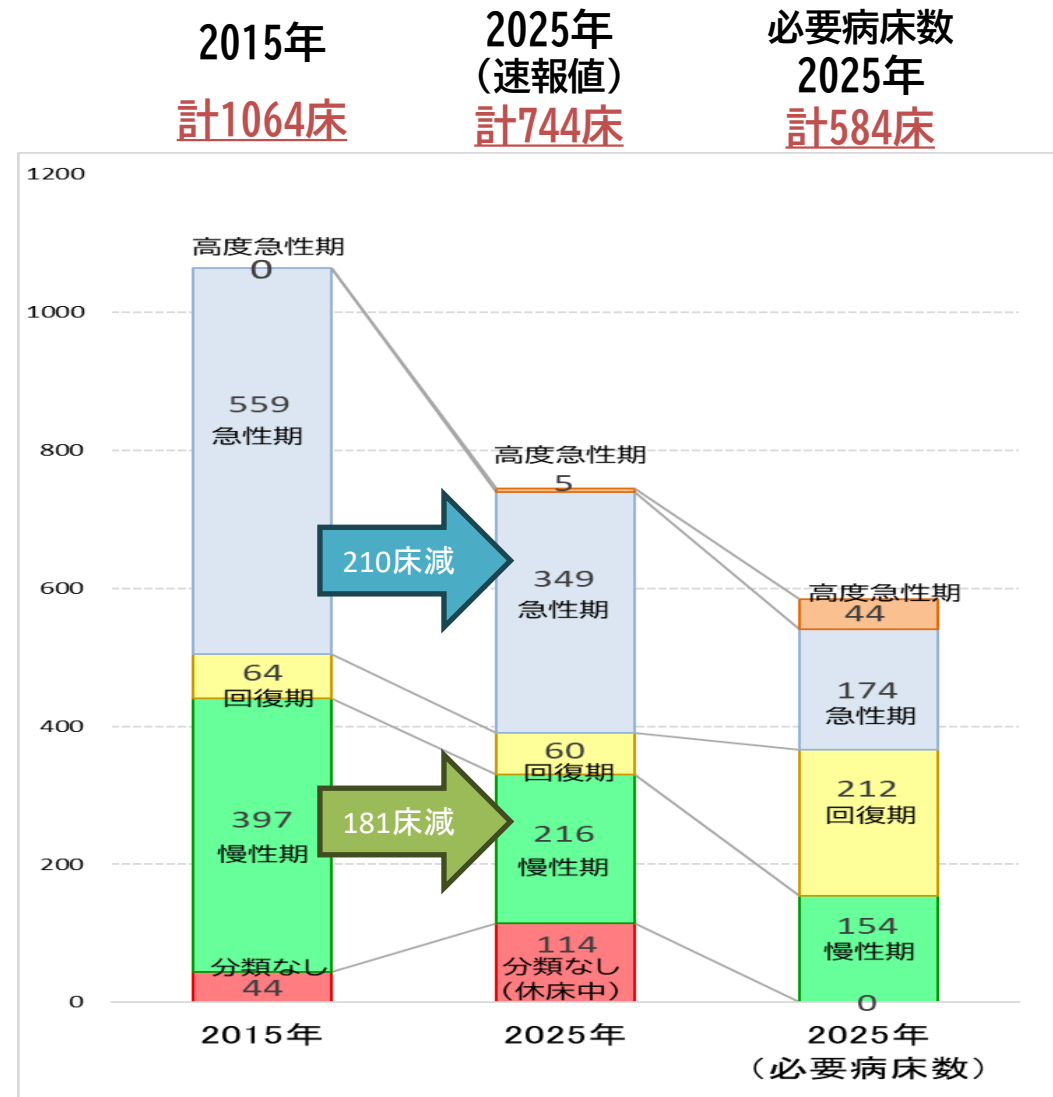


現行の地域医療構想について①

総括

過剰となっている病床の削減や
不足している病床機能への転換
など、構想策定時から一定の進捗

- ・総病床数：1064床→744床
約10年間で320床の病床を削減
- ・過剰となっている急性期・慢性期を
減らし、不足している高度急性期を
増やすなど病床機能を転換



非稼働病床の状況

	医療機関名	R7		R6		R5		R5~R7
		病床数 (R7.7時点)	非稼働 (R6実績)	病床数 (R6.7時点)	非稼働 (R5実績)	病床数 (R5.7時点)	非稼働 (R4実績)	非稼働 病床平均
1	新宮市立医療センター	281	81	281	57	281	54	64.0
2	那智勝浦町立温泉病院	120	1	120		120		0.3
3	新宮病院	84		84		84		0.0
4	日進会病院	82	32	82	25	82	30	29.0
5	くしもと町立病院	110	21	110	22	114	17	20.0
6	いずみウィメンズクリニック	10	5	10	5	10		3.3
7	坂野医院	19	19	19	19	19	19	19.0
8	木下医院	19	4	19		19		1.3
9	玉置整形外科医院	19	19	19	19	19	19	19.0
合計		744	182	744	147	748	139	156

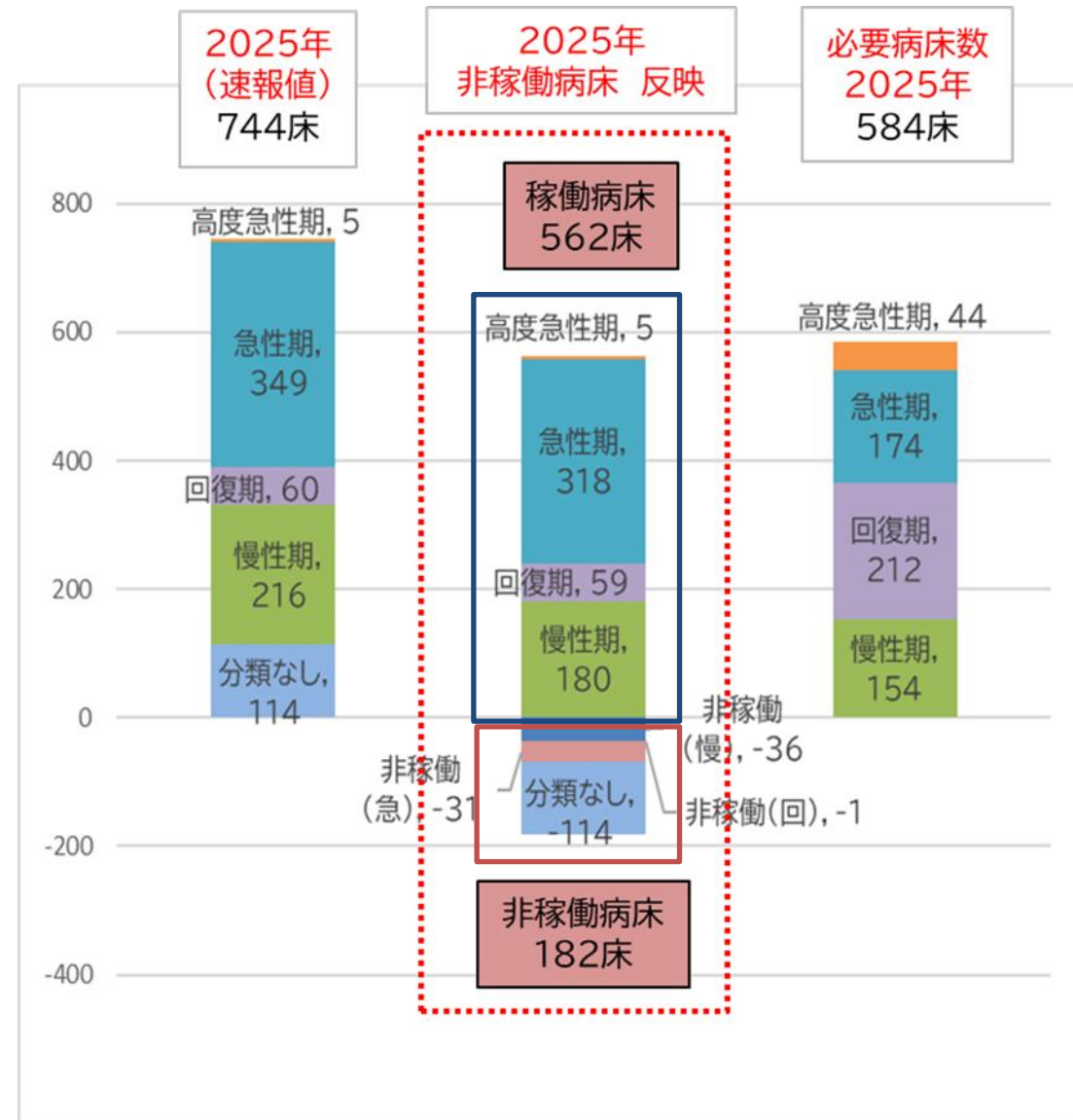
現行の地域医療構想について②

現 状

2025年の病床機能報告の非稼働病床を反映させると、地域医療構想の2025年必要病床数を下回っている。

今後の取組み

非稼働病床 182床の意向を各医療機関に確認し、病床の廃止や転換等の意向の確認を行っていく。



現行の地域医療構想に係る取組について

■ 医療需要の動向等を踏まえ、引き続き

- ・ 非稼働病床 182床の意向を確認し、病床の廃止や転換等の意向を確認

※ 医療法の改正により、新たな地域医療構想の取組は令和9年(2027年)4月1日施行とされている。
なお、医療法の一部を改正する法律の附則において、令和10年(2028年)度までは新構想の取組を猶予する旨の経過措置が設けられている。

R9.4.1時点で新構想が未策定でも、令和11年3月31日までは、現行の医療計画や地域医療構想が、医療法改正後の医療計画や地域医療構想とみなされる。

非稼働病床について（今年度の取組み）

対象の医療機関にヒアリングを実施し、病床の廃止や他施設への転換について引き続き依頼

〈ヒアリング対象〉

非稼働病床数が **10床以上の医療機関**

〈ヒアリング内容〉

非稼働の理由、非稼働病床の今後の予定 等

※非稼働病床を廃止する場合など、具体的な方針が決まっている場合は調整会議で合意を得る。

※病床を削減や機能転換する際には、補助金等を使える可能性有。

ヒアリング結果

No.	医療機関名	病床数	非稼働病床数 (令和6年実績)	非稼働の理由	非稼働病床の今後の予定 (いつ、何をするなど具体的に)	見直し予定時期 見直し後の病床数
1	新宮市立 医療センター	・高度急性期 5床 ・急性期 226床 ・回復期 50床 ・慢性期 床 (内:休床中 76床)	・高度急性期 床 ・急性期 31床 ・回復期 50床 ・慢性期 床 ・休床 床	看護師不足により2つの病棟を閉めている。	・現在休床している回復期病床(50床)は令和8年度に再開したい。再開に向け、外国人ナースエイドの雇用を予定している。 ・急性期(3階の26床)については、今後の予定は未定。8床については病床廃止を検討中。	・見直し予定時期 令和8年度 ・高度急性期 5床 ・急性期 200床 ・回復期 50床 ・慢性期 床 ・休床 26床
2	日進会病院	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 82床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 32床 ・休床 床	2023年に元院長が急逝、常勤医を探していたが見つからず、医師1名での対応であったため。	・現在は医師2名体制で病床稼働率は91%となっている。	・見直し予定時期 解消済 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 82床 ・休床 床
3	くしもと町立 病院	・高度急性期 床 ・急性期 90床 ・回復期 床 ・慢性期 20床 ・休床 床	・高度急性期 床 ・急性期 17床 ・回復期 床 ・慢性期 4床 ・休床 床	コロナ患者は減少傾向であるが、院内感染による「入院制限」が要因となっている。(R5-367人、R6-244人、R7-71人) 整形外科医師が令和5年度から1名となり、手術件数減少の要因になっている。(R5-163件、R6-168件、R7年12月まで-109件)	・当面の間は、現状の病床数を継続したい。人口が減少傾向であるが、高齢者救急など需要がある。 ・今後、患者が一定数減少した時に病床の削減や病棟の構成を変更する予定	・見直し予定時期 未定 ・高度急性期 床 ・急性期 90床 ・回復期 床 ・慢性期 20床 ・休床 床
4	玉置整形外科医院	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	スタッフ不足のため休床中	・病床廃止(返還)予定であるが、時期については未定	・見直し予定時期 未定 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床
5	坂野医院	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床	スタッフ不足のため休床中	・病床廃止(返還)予定であるが、時期については未定	・見直し予定時期 未定 ・高度急性期 床 ・急性期 床 ・回復期 床 ・慢性期 床 ・休床 19床